

(参考) 中間評価 (R10年度実施予定) 時の評価のイメージ

番号	計画内容	検証指標										達成 状況	法人 自己評価	評価委員 会評価
		項目	目標	実績										
				R6	R7	R8	R9	R10	R11					
Ⅰ 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための取組														
1 教育に関する目標を達成するための取組														
1	入学者受入れ方針に基づく多様な入学者選抜の実施・検証 多様な学生の確保に向けた入試広報の実施（一般選抜志願者倍率2.0倍以上を確保）【重点】	学部志願者数（期間平均）	2,000 名	2,506	2,383	2,217	2,285			117%	A	2		
		入学定員充足率（毎年度）	100 %	105	105	105	103			105%	A			
2	外国人留学生等の増加【重点】	外国人留学生等の受入れ数（期間平均）	50 名	35	20	27	47			65%	B			
3	大学院への多様な人材（内部進学者・社会人等）の受入れ推進、 収容定員に基づく在籍学生数の適正管理【重点】	各研究科の収容定員充足率の評価基準達成（博士前期）（毎年度）	50～200 %（文）	35	45	45	50			未達成	B			
			50～200 %（環）	80	80	68	60			未達成	B			
			50～200 %（アド）	30	45	43	38			未達成	B			
		各研究科の収容定員充足率の評価基準達成（博士後期）（毎年度）	33～200 %（文）	83	67	50	58			達成	A			
			33～200 %（環）	144	111	178	200			達成	A			
			33～200 %（アド）	25	17	33	25			未達成	B			
4	可視化された学修成果に基づく適切な評価の実施 学位授与方針及び教育課程編成・実施の方針の検証・改善【重点】	アセスメントプランの指標となっている数値の検証・改善	毎年度実施	実施	実施	実施	実施			100%	A			
5	DX・半導体関連産業などの分野でも活躍する人材の育成に向けたデータサイエンス教育等の実施【重点】	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A			
6	管理栄養士教育の実施・質的向上	管理栄養士国家試験合格率（期間平均）	90 %	98	100	95	100			109%	A			
7	教育DXの推進【重点】	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A			
8	地域の諸課題を題材とした実践的な教育の実施【重点】	地域の諸課題を題材とした教育の件数（期間平均）	105 件	90	116	97	108			98%	A			
9	TOEIC®IP全員受験を通した学修成果の把握、英語能力向上のための教育課程・方法の改善 異文化理解・多文化共生の促進に向けた教育の実施【重点】	TOEIC®IPテスト受験者数（毎年度）	700 名	625	800	800	825			109%	A			
		英語教育の改善	最終年度までに実施		実施					達成	A			
10	（文学部英語英米文学科）グローバルビジネスに対応できる英語能力の育成【重点】	TOEIC®730点以上到達者の割合（最終年度）	50 %	20.5	12.2	36.5	44.4			89%	A			
11	もやいすとグローバル育成プログラムの着実な実施【重点】	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A			
12	組織的なFDの実施	FDの実施回数（期間平均）	20 回	25	18	21	24			110%	A			
13	社会と時代に合わせたカリキュラム・教育実施体制の検討・見直し【重点】	カリキュラムや教育の実施体制の見直し	最終年度までに実施				実施			達成	A			
2 研究に関する目標を達成するための取組														
14	地域の課題解決に貢献する高水準の研究の推進 県内の復興再生、防災・減災に係る研究の実施【重点】	地域の課題解決に貢献する研究件数（期間平均）	100 件	82	89	112	115			100%	A	1		
15	科学研究費補助金への応募義務化の継続	科研費応募率（毎年度）	100 %	100	100	100	100			100%	A			
		科研費新規採択件数（期間平均）	10 件	9	7	11	13			100%	A			
16	知財管理の体制整備等の研究活動支援【重点】	研究活動等の情報発信件数（期間平均）	50 件	55	60	58	65			119%	A			
17	学術情報基盤の充実	論文登録件数（最終年度）	240 件	40	40	40	40			67%	A			
3 地域貢献に関する目標を達成するための取組														
18	DX推進に寄与する取組、研究シーズ等を生かした県、市町村、企業等の課題解決支援（シンクタンク機能を果たす）【重点】	マッチング相談件数（期間平均）	50 件	40	44	52	60			98%	A	1		
		教員派遣数（委員派遣）（期間平均）	120 件	124	110	130	130			103%	A			
		教員派遣数（講師派遣）（期間平均）	60 件	72	75	80	68			123%	A			
		連携研究件数（期間平均）	50 件	60	52	55	58			113%	A			

ここから右側は、適当に仮置き

例①

改正案の評価基準表の判断基準によれば、自己評価「B」の項目があるため、法人評価は「3」となるが、自己評価「B」となっている項目は、重点事項であることを勘案し、法人評価を「2」にしている。

例②

自己評価は全て「A」となっている（「S」はない）が、重点事項の達成状況を勘案し、法人評価を「1」としている。

19	他大学等との連携による地域産業振興に資する研究活動の実施	共同研究・受託研究件数（期間平均）	32	件	39	37	32	34			111%	A	
20	各種公開講座の実施、能力開発支援プログラムの推進【重点】	授業公開講座等の件数（期間平均）	50	件	30	45	50	50			88%	A	
4 国際交流に関する目標を達成するための取組													
21	学生の海外留学・国際交流の推進【重点】	海外留学・研修等への派遣学生数（期間平均）	100	名	87	139	15	28			67%	A	1
22	外国人留学生等に対するきめ細かな支援、情報発信【重点】	海外留学生等に対する支援策の数（期間平均）	10	件	10	15	12	8			113%	A	
23	海外協定校等との研究者交流、共同研究等の実施【重点】	海外大学等との学術交流・研究活動等の件数（期間平均）	35	件	33	62	32	54			129%	S	
5 学生支援に関する目標を達成するための取組													
24	学生の自主性を育む諸活動の活性化支援及び情報発信	4年生アンケート調査の「サークルやボランティア活動に対する支援」における「満足・やや満足」の割合（期間平均）	87.7	%	90	88.9	91.2	92.3			103%	A	2
25	キャリアデザイン教育の着実な実施・見直し	キャリアデザイン教育の改善	R7までに実施		実施						達成	A	
26	就業力の育成、希望に沿った就職支援、県内就職促進	就職率（期間平均）	92.8	%	94.1	91	92.8	94.4			100%	A	
		県内就職率（期間平均）	55.3	%	56.8	60.2	60.4	59.6			107%	A	
27	奨学金制度等の周知・検証・見直し	4年生アンケート調査の「各種奨学金等に関する情報提供・支援」における「満足・やや満足」の割合（期間平均）	92.8	%	94	89.8	90.4	96.2			100%	A	
28	学生の健康診断受診促進、学生の心身の健康に関する相談等への適切な対応、修学支援のあり方の検証・改善	定期健康診断受診率		%								A	
		4年生アンケート調査の「学生相談体制」における「満足・やや満足」の割合（期間平均）	94.2	%	96	96.3	95.4	95.2			102%	A	
29	学生の食と健康に関する理解を深める取組の推進	—	—	—								A	
Ⅱ 業務運営の改善・効率化に関する目標を達成するための取組													
30	政策的かつ効果的な大学運営、社会状況の変化への適切な対応	—	—	—								A	2
31	社会と時代の要請に合わせた学部学科、研究科及び附属機関等のあり方の検討・見直し	設置上必要な専任教員数の充足（毎年度）			充足	充足	充足	充足			達成	A	
32	多様な人材が活躍できる環境整備、SDの計画的な実施 プロパー職員の人材育成及び適正な人事・評価	女性教員（常勤）比率（期間平均）	25	%	25	25	25	25			100%	A	
		外国人数員比率（期間平均）	5	%	5	5	5	5			100%	A	
		教職員を対象としたSD実施回数（期間平均）	4	回	3	6	11	10			188%	A	
33	個人評価制度等による教員の教育研究活動の点検・評価・改善	—	—	—								A	
34	DX推進等による大学運営の効率化	1人当たりの時間外勤務時間削減率（第3期比）（最終年度）	5	%	1	1	3	4			0%	A	
Ⅲ 財務内容の改善に関する目標を達成するための取組													
35	授業料の確実な徴収による学生納付金の収入確保	学生納付金の収納率（期間平均）	99.9	%	99.9	99.9	99.9	99.9			100%	A	1
36	外部資金の獲得	外部資金の総額（期間平均）	137,319	千円	180,222	167,541	166,325	172,643			125%	S	
37	熊本県立大学未来基金の積極的な広報及び活用												
38	経費節減の取組の点検・改善、効果的な運営及び経費抑制	電力使用量（期間平均）	400	万kwh以下	365	361	325	303			118%	A	
		ガス使用量（期間平均）	160	千m3以下	146	124	45	92			157%	S	
Ⅳ 自己点検・評価及び情報提供に関する目標を達成するための取組													

39	法人評価及び認証評価の受審及び結果を踏まえた改善・向上 自己点検・評価に係る方針・体制の検証・見直し【重点】	認証評価の受審	R10年度までに受審					受審			達成	A	2
40	特色ある教育研究活動の取組及び成果の積極的な発信（HP、SNS 等活用による戦略的広報の実施） 大学・法人運営に関する重要情報のわかりやすい公開・発信	ホームページやSNSでの広報及び報道機関 への発信件数（毎年度）	300 件	272	300	289	322			99%	A		
V その他業務運営に課する重要目標を達成するための取組													
41	保全計画等に基づく施設整備の適正な維持管理、計画的な整備 改修による長寿命化	施設設備保全計画を踏まえた年度計画上の 施設設備の整備率（毎年度）	100 %	100	100	100	100			100%	A	2	
42	情報セキュリティ対策の強化	情報セキュリティ研修会の受講率（毎年 度）	100 %	100	100	100	100			100%	A		
43	防災対策の強化	防災訓練の実施	毎年度実施	実施	実施	実施	実施			達成	A		
44	教職員の心身の健康に関する相談、啓発活動の実施	ストレスチェックの提出率（期間平均）	85 %	87.4	81.8	87.6	87.2			101%	A		
45	人権侵害に関する啓発の実施、相談体制の周知・充実	人権研修の受講率（毎年度）	100 %	100	100	100	100			100%	A		